

# 取扱説明書

DAYTONA corp.

S93608①/③

\*取り付ける前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

\*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

\*この商品もしくはこの商品を取り付けた車輛を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

セパハンセット	適応車種	商品NO.
	SR400 ('01~'16)	93608

## ■ご使用前に必ず、ご確認ください■

本書では正しい取付、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

**▲警告** 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。

**⚠注意** 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

### ⚠注意

 実施	<ul style="list-style-type: none"><li>この商品はSR400 ('01~'16)専用品です。適合車種以外の車両には使用しないでください。</li><li>この商品を装着する際、純正ヘッドライトブラケット及び、純正フロントウインカーは同時装着出来ません。別売のヘッドライトブラケット及び、ウインカーキットの交換が必要となります。</li><li>この商品を装着する際、スロットルスリーブ及び、グリップのエンド部は貫通加工が必要となります。</li><li>この商品を装着する際、別途ブレーキフルード（DOT4）が必要となります。</li></ul>
 禁止	<ul style="list-style-type: none"><li>純正トップブリッジで、この商品に付属のハンドルストッパーを装着すると、ハンドルロックは使用できません。キーシリンダー位置をオフセットさせた当社製ピンテージトップブリッジ（48219/48220）と同時装着でハンドルロックが使用可能です。ロック機能を備えていない車両は道路運送車両法に抵触します。</li></ul>
 その他	<ul style="list-style-type: none"><li>走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。</li><li>この商品は予告無しに価格や仕様の変更をすることがあります。予めご了承ください。</li></ul>

## 本商品の特徴

- ロッカーズ、ブリティッシュ、カフェスタイルに合うセパレートハンドルとハンドルストッパー及び、ショートケーブル類をひとまとめにしたセット。

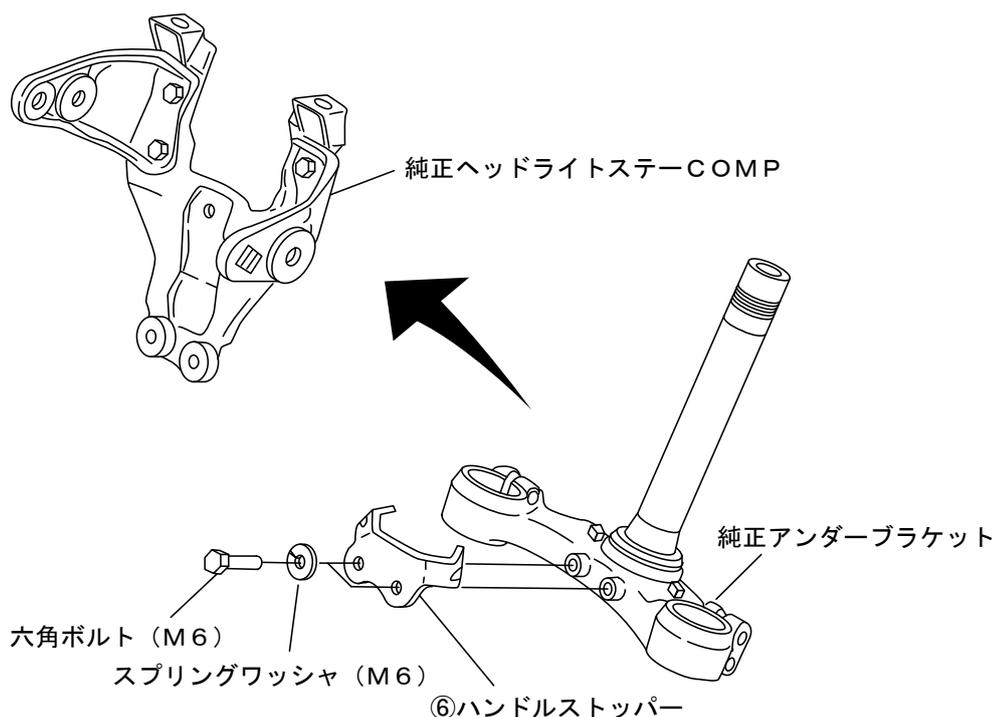
## 商品内容

NO	パーツ名	刻印	数量	NO	パーツ名	刻印	数量
①	オメガハンドルφ35		1	⑤	デコンプケーブル	30176	1
②	ブレーキホース		1	⑥	ハンドルストッパー		1
③	スロットルケーブル	39882A 39882B	1 1	⑦	ブレーキホースガスケット		4
④	クラッチケーブル	30175	1	⑧	結束バンド(200mm)		2

## 取付方法

1. 純正ケーブル類を取り外し、③④⑤ケーブル類の車体側を取り付けます。
2. 純正ブレーキホースを取り外し、②ブレーキホースを⑦ブレーキホースガスケット2枚と純正バンジョーボルトを使用して車体側（ブレーキキャリア）へ取り付けます。
3. 純正ヘッドライトからの付け替えの場合は純正ヘッドライトブラケットを取り外します。
4. 純正アンダーブラケットに⑥ハンドルストッパーを取り付けます。
5. ①オメガハンドルを仮組みし、スイッチ類を取り付けます。
6. ハンドルを左右に切りタンクと接触しない位置に①オメガハンドルを固定します。
7. ③④⑤ケーブル類をハンドル側へ取り付けます。
8. ②ブレーキホースを⑦ブレーキホースガスケット2枚と純正バンジョーボルトを使用してマスターシリンダーへ取り付けます。  
②ブレーキホースは⑧結束バンド2本を使用してハンドル操作に問題がない位置に固定してください。また、取り付け後にエア抜き作業が必要です。次ページのブレーキホースの取り付けをよく参照の上、作業を行ってください。
9. 必要に応じてヘッドライトステーの交換、ウインカーの交換を行います。
10. 各部を点検し、異常がなければ作業は完了です。

## 取付詳細図



## ブレーキホースの取り付け作業にあたって



**警告**

ブレーキホースの取付けにあたって、特に以下の事項について注意してください。間違った取付けや、不注意な行為は、重大な事故にもつながり、また保証対象外となりますのでご注意ください。

ブレーキホースの取り付けにあたっては、整備の整ったオートバイ店や認証整備工場で専門的な教育を受けた整備士に作業を行っていただく必要があります。専門外の方が作業を行うと、怪我や火傷の恐れがあり大変危険です。この商品の装着作業については、専門のオートバイ店もしくは認証整備工場等へ依頼してください。

### [この商品を取り付けられる整備士の方へ]

- ★取り付けの際は、取扱説明書をよく読んで、正しく理解した上で作業を進めてください。
- ★バンジョーボルトは、必ずトルクレンチを使用し、所定のトルクで締め付けてください。但し、アルミ製のバンジョーボルトはアルミの材質によって強度が違うため、トルクレンチで締め付けの際、スチール製と同じトルクですと折損する恐れがあります。アルミのバンジョーボルトを締め付ける際は、オーバートルクに充分注意してください。また、取り付け後、約100kmしましたら各部を点検し、トルクレンチで改めて所定のトルクで増し締めを行ってください。その後は500km毎に各部を点検し、緩み等があれば同様の増し締めを行ってください。



**注意**

- ・スチール製バンジョーボルトはネジ径 10mm。P (ピッチ) 1.0 と P 1.25 がありますがいずれも締め付けトルク：24.5～29.4 N・m (2.5～3.0 kgf・m) です。

- ★ブレーキホースを交換する際は、必ずガスケットを新品と交換してください。
- ★ブレーキホースを交換する際、ブレーキオイルが塗装面等に付着しないよう、十分注意してください。ブレーキ液が塗装面に付着したまま放置すると、塗装を傷めます。万一、付着してしまった場合は直ちに脱脂スプレーもしくは水で洗い流してください。
- ★エア抜き作業は完全に行ってください。ブレーキオイルにエアが混入しますと、ブレーキが効かず大変危険です。(エア抜き手順は下記参照)
- ★ブレーキホース交換後はブレーキレバーの握りしろを確認し、必要があれば調整をしてください。
- ★ブレーキホース交換後は必ず、他の交通がない安全な場所でブレーキが正常に作動するかを確認してください。
- ★当社製ブレーキホースに交換しますと、ブレーキ操作のフィーリングが純正よりも硬くなります。交換した後、ブレーキホースのフィーリングに慣れるまでは、決して無理な運転はしないでください。
- ★ブレーキホースを取り付けた後は、エンジンを始動せずにバイクにまたがり、ハンドルを左右に切ってみてブレーキホースが挟まったり引っ張られたりしないかを必ず確認してください。無理な状態のまま使用を続けると非常に危険です。
- ★この商品に、曲げ、切削、溶接等の追加加工を行った場合、重大な事故につながる場合があります。商品には決して加工をしないでください。
- ★取り付けに際して、疑問や不明点がある場合には、販売店もしくは弊社までお問い合わせください。必ず完全に理解したうえで作業に掛かってください。
- ★走行中に異常が発生した場合は、直ちにオートバイを安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。
- ★この商品あるいはこの商品を取り付けたオートバイを他の第三者へ譲渡する場合には、必ずこの説明書も併せて渡してください。

### <ブレーキのエア抜き手順>

1. キャリパー側のエア抜きバルブを締め付け、エア抜きバルブにエア抜きホース及びオイル受けを取り付けます。
2. マスターシリンダー側のオイルキャッチタンクにブレーキフルード (DOT 4) を注ぎます。
3. ブレーキレバーを4～5回連続して握り、レバーを握った状態でキャリパー側のエア抜きバルブを緩めます。エアが抜けたら、再度エア抜きバルブを締め付けます。
4. 完全にエアが抜けるまで、手順3の作業を繰り返します。
5. エアが抜けましたら、キャッチタンク内のブレーキオイル量を調整しフタを取り付けます。
6. ブレーキオイルが塗装面に付着していないことを確認し作業は完了です。

東証JASDAQ上場  
株式会社 **デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <http://www.daytona.co.jp>

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで